

祖父・波山の思い出を語る

下館・時の会が『波山の夕べ』を開催

筑西市名誉市民で文化勲章受章者の陶芸家・板谷波山（明治5年〜昭和38年）の誕生日にあたる3月3日、アルテリオで、『第4回波山の夕べ』が開催されました。これは、『下館・時の会』（会長＝木努さん）が毎年行っているものです。今回は、波山の孫の板谷駿一さん（前NHKエントープライズ社長）が講演を行い、夜通しで窯焚きを手伝ったエピソードなどを披露。また、波山が出演した昭和25年のラジオ番組を流し、筑波山の見える場所にアトリエを構えた経緯や、お米を買うために羽織を売った話などを語る、貴重な肉声を紹介しました。後半では、駿一さんの姉・村田あき子さん、出光美術館学芸員の荒川正明さんとともに語り合い、孤高の陶芸家を偲びました。



暮らしを考え
まちを知りたい
みんなの広場

筑西あらかると

元日本代表・松木安太郎さんを迎えて

小学生サッカー教室

3月4日、下館運動場多目的広場で、元サッカー日本代表選手の松木安太郎さん（49歳）によるサッカー教室が開かれました。読売新聞東京本社などが主催したもので、市内のサッカースポーツ少年団7チーム、小学生約140人が参加。松木さんは、「積極的にチャレンジすることが大切」と心がまえを説き、基本技術などを熱心に指導しました。参加した下館小4年の向田晃士くん（あしかびFC所属）は、「とても楽しかった。将来はJリーガーになりたいです」と夢を語ってくれました。



いつまでもお元気で

下館寿司商組合が老人ホームを慰問

下館寿司商組合（横田博之組合長）のみなさんによる、ことぶき荘老人ホームへの慰問が、3月6日に行われました。同ホームへの慰問活動は今年で33年目を迎えます。この日は9人のお寿司屋さんたちが、まぐろやはまち、えびなどの生寿司や太巻き、あら汁などを手際よく作り、入所者に振る舞いました。組合長の横田さんが「来年も必ず来ます。お寿司を食べて、1年間元気で過ごしてください」とあいさつ。色とりどりのお寿司に、入所者からは明るい笑顔がこぼれていました。





おでかけガイド

詳細は変更になる場合があります。事前に確認しておでかけください。

4/10(火)~15(日) 日本工芸会東日本支部 伝統工芸新作展

日本橋三越本店新館7階ギャラリー〔東京都中央区TEL 03-3241-3311〕開館時間 午前10時~午後7時30分 入場無料 関東・甲信越・東北・北海道在住作家による作品(金工・陶芸・人形・諸工芸・染織・漆芸・木竹工)を紹介。筑西市在住の漆工芸家・大西勲さんの作品が展示されます。

■ギャラリートーク(陳列品解説)

4月11日(水) 午後0時30分~

【陶芸】解説:荒川正明さん(出光美術館主任学芸員)

5/6(日)まで やなせたかしの世界展

酒田市美術館〔酒田市TEL 0234-31-0095〕開館時間 午前9時~午後5時 一般700円 高大生350円 小中生無料 アンパンマンの大原画や絵本原画、陶器などを展示

6/3(日) ロシア・ナショナル管弦楽団

茨城県立県民文化センター〔水戸市TEL 029-241-1166〕開演 午後3時 S席10,000円 A席9,000円 B席8,000円 学生2,000円 ピアノ:上原彩子(2002年チャイコフスキーコンクール1位)

4/4(水)~6/10(日) 三瓶コレクション 布が伝える和のこころ展

とちぎ蔵の街美術館〔栃木市TEL 0282-20-8228〕開館時間 午前9時~午後5時 月曜休館 一般500円 小中生200円 日本の伝統美を伝える着物、ふろしき、百徳、古袱紗を紹介

6/17(日)まで 企画展 ありんこアントの大冒険

茨城県自然博物館〔坂東市TEL 0297-38-2000〕開館時間 午前9時30分~午後5時 月曜休館 大人720円 高大生440円 小中生140円 土の中の生きものを探せ!

4/18(水)~6/17(日) 野口雨情生誕125年記念特別企画展 雨情と晋平

北茨城市歴史民俗資料館〔北茨城市TEL 0293-43-4160〕開館時間 午前9時~午後4時30分 大人300円 学生100円 詩人・野口雨情と作曲家・中山晋平の作品を紹介

7/1(日)まで 日本の近代陶芸 ―東西作家の競宴―

せんおく 泉屋博古館〔京都市TEL 075-771-6411〕開館時間 午前10時~午後4時30分 月曜休館 一般730円 学生520円 小中学生310円 板谷波山の作品が展示されます。

ぼくたち・わたしたち 1歳になりました

わが家のアイドル



ほし まさと 保科 愛斗 くん
4月3日生(樋口)



つか だ こう へい 塚田 航平 くん
4月4日生(関本下)



ちや ばな れい な 茶花 麗 椰 ちゃん
4月4日生(玉戸)



なか はら ゆい 中原 結衣 ちゃん
4月4日生(小栗)



おお だ かい 大和田 耀一 くん
4月8日生(深見)



く む ゆう ぜん 久米 悠千 くん
4月11日生(玉戸)



か い り こう き 坂入 煌基 くん
4月11日生(下中山)



ふく もり ゆう あ 福森 友愛 ちゃん
4月13日生(下岡崎)



あお やぎ はる と 青柳 陽人 くん
4月18日生(伊佐山)



おお ぜき は な 大関 花奈 ちゃん
4月18日生(榎生)



つか だ ゆう な 塚田 夢叶 ちゃん
4月22日生(村田)



よし え ま あ 吉江 麻桜 ちゃん
4月23日生(倉持)



おお ばた ひ より 大畑 日陽里 ちゃん
4月28日生(松原)



こ ばやし ひ な 小林 陽菜 ちゃん
4月28日生(玉戸)



なか の ひ な 中野 陽菜 ちゃん
4月28日生(中上野)



しば ゆの あ 柴 夢永愛 ちゃん
4月30日生(幸町)

アイドル募集

平成18年6月生まれのお子さんの写真を募集しています。写真裏面に①お子さんの氏名・ふりがな・生年月日・性別 ②保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記し、4月27日(金)までに広報広聴課へ。応募者多数の場合は抽選とします。

スナツプ

関本神社の太太神楽

守り続ける伝統の舞

3月3日、関本神社境内の神楽殿で、太太神楽（市指定無形民俗文化財）が行われました。この神楽は同神社に古くから伝わるもので、毎年、春（3月3日）と秋（11月23日）の大祭に奉奏されています。この日も地域住民などが見守るなか、第1座の五行の舞から第8座の岩戸開きの舞まで、8つの座が舞われました。



左 箱守 研二郎くん（関館）
右 樋口 怜士くん（宮後）
全国高校ソフトボール選抜大会に出場

ミスがなくし、練習の成果をきちんと出せるよう頑張りたいと思います。それに、全国にはすごい選手がいっぱいいるので、そういう選手のいいプレーを学んで、次につながるような試合をしたいですね。やるからには上を目指します。目標は優勝です」と、意気込みを語ってくれました。

輝人

「ソフトボールを始めたのは中学生の時。父が地区のソフトボールをやっている姿を見て、カッコいいと思ったからです。ソフトボールは野球よりも塁間が短く、素早いプレーが求められるスポーツ。そこがおもしろいし、楽しいですね。県大会では、前回勝てなかった土浦日大高に勝ち、優勝できて良かったです。これも小島監督の指導のおかげだと思います。全

国大会では一戦一戦を大切に戦って、思い出に残る大会にしたいですね」と語ってくれたのは、県立下妻第二高等学校3年の樋口怜士くん。樋口くんが副キャプテンを務める男子ソフトボール部は、昨年11月に桜川市で行われた『全国高等学校ソフトボール選抜大会茨城県予選会』で見事優勝。3月17日から静岡県富士宮市で開催される全国高校選抜大会への切符を手に入れました。

シヨートを守る2年生の箱守研二郎くんは、「チームの雰囲気良かったので入部しました。キャプテンを中心にみんな仲が良く、練習も

—— 目標は、もちろん優勝
全国大会で最高の思い出を作りたい ——

市民記者のページ

昨年度このページを担当した10人の市民記者が、取材活動や月1回の市民記者会議などで得た感想を掲載します。

筑西市誕生より2年の歳月が過ぎました。市民記者会議を通じ、私の住む下館以外の、明野や関城、協和地区に住む市民の活動について知ることができ、大変充実した1年間でした。市誕生1周年記念で市役所駐車場に植樹した、4本の桜の木に咲く美しい花のように、人々が心豊かで、安心して暮らせる誇り高い市になることを願っています。



ひろせ すみこ
廣瀬 住子
(玉戸)

市民記者としての1年間で、各地域でのさまざまな活動や素晴らしい自然についてを知ることができ、とても良い経験となりました。記事を書くにあたって、あらためて市内を見直し、自分の住む筑西市により関心を持つことができました。ここで生まれ育つ子どもたちが「このまち大好き」と思えるような筑西市になることを願っています。



いわぶち ゆきこ
岩淵 祐子
(蓮沼)



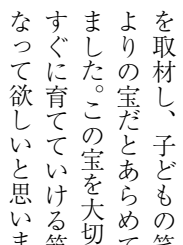
いなば ひろし
稲葉 寛
(中上野)

現役を引退して3年目に入った。この間ボランティアを含むさまざまな社会活動を試み、市の事業にもいくつか参加させていただいた。市民記者もそのひとつである。各記者が年に1回の記事掲載だが、テーマ選びには難儀する。市民のみなさんが「へー」と新鮮な驚きを覚えるようなことを取り上げたつもりだが、さてその結果のほどは。



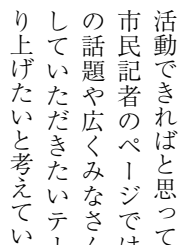
わたなべ ちか子
渡邊 千代子
(黒子)

取材にご協力いただいた『梨の会』のみなさんとの出会い。特集『筑西の歴史を訪ねて』を読まれた『筑西市を知りたい下館女性学級生』20名に関城の史跡案内を依頼され、地域のことをお話できた喜び。思い出に残る1年でした。歴史や文化を学びあうなど仲間づくりや地域づくりに交流を深め、益々夢の広がる筑西市になることを願っています。



わたなべ りえ
渡辺 理恵
(蒔田)

今年度、初めて市民記者を務めさせていただきました。なかなか経験のできないことなので、ありがたく思います。子どもたちとのふれあいをテーマに子育てボランティアサークル『未来ネットワーク』を取材し、子どもの笑顔は何よりの宝だとあらためて実感しました。この宝を大切に、まっすぐに育てていける筑西市になって欲しいと思います。



おじま くにあつ
小島 邦光
(蓮沼)

市民記者2年目は、地域のみなさんから色々な意見を聞くことができました。『まちづくり会議』にも参加し、市民の立場から提言することができました。今後は行政と市民との共働社会の実現に向けて活動できればと思っています。市民記者のページでは、地域の話題や広くみなさんに理解していただきたいテーマを取り上げたいと考えています。



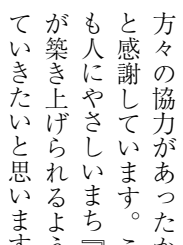
はこもり まり子
箱守 まり子
(関館)

小さな町から大きな市に生まれ変わって丸2年。市民記者として研修や取材を通じ、筑西の歴史や文化などに触れ、多くを学ぶことができました。また、様々な人との関わりは、私にとって一生の財産となりました。今後は今以上に、恵まれた自然、素晴らしい芸術文化を大切にして、市民が心豊かに安心して暮らせるまちづくりを願っています。



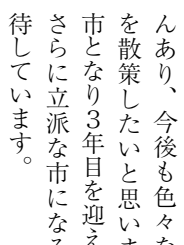
わたなべ あけみ
渡辺 明美
(岡芹)

慣れ親しんだ下館市から、新築の筑西市へ。激動する市政を勉強する機会に恵まれたこと、また、取材に快く応じてくださったみなさんに、深く感謝いたします。地方行政充実のため行われた合併。その成果を知るにはまだ時間が必要なのですが、これからも、活気あふれる住みよいまちづくりのため、市民の一人として協力したいと思っています。



ふかみ きょう子
深見 恭子
(村田)

市民記者会議も回を重ねるごとに、和気藹々とした中で自由に意見交換ができるようになりました。ひとりひとりが様々な分野に関心を持ち、市民の立場で記事にできたことは、取材を通して多くの方々の協力があつたからこそと感謝しています。これからにも人にやさしいまち『筑西市』が築き上げられるよう見守っていききたいと思います。



すとう いち子
須藤 いち子
(谷中)

市民記者という大事な仕事をさせていただいて、私なりに大変勉強になり、視野が広がりました。普段はなかなか行けない施設なども見学でき、教養が高まりました。市内には私の知らない場所がたくさんあり、今後も色々なところを散策したいと思っています。新市となり3年目を迎えますが、さらに立派な市になるよう期待しています。